



あすなろ

特別支援教室あすなろ
令和8年3月② No.7

🌸🌸🌸🌸🌸🌸 一年間ありがとうございました 🌸🌸🌸🌸🌸🌸

花便りの嬉しい季節となりました。あすなろ教室に通っている子供たちも、一年間の努力が実を結び、成長した姿が見られました。充実した一年が過ごせましたのも、日頃からご協力いただき、あすなろ教室を支えてくださっている保護者の皆様や在籍校の先生方のお陰です。一年間ご協力いただきましてありがとうございました。



ケース6 大人の言うことをまったく聞かない

実態

- ・おもちゃを次々出しては、出しっぱなしで片付けない。
- ・いつも「片付けなさい。」「早く、きれいにして。」と言っているが、まったく片付けようとしない。
- ・片付けたとしても、とても乱暴なので、「もっと優しくして。」「大事にきなさい。」と言っても伝わらない。

『困った』の背景にあるもの

- ・指示が多いため、混乱してしまう。
- ・大人が言う言葉の意味を理解していない。
- ・指示語や抽象的な言葉の意味が分からない。
- ・状況を把握して、相手の思いを察することが難しい。

対応・支援

①一つ一つ指示を出す。

→行動できたら、次の指示を出します。

②やってほしいことを保護者が見せる。

→やってほしいことを見せながら言葉を添えることで、指示を理解させます。

③具体的な言葉で伝える。

→「おもちゃを箱に入れて。」「本は破らない。」などと抽象的にならないようにします。「早く」「ゆっくり」「少し」「たくさん」などの「程度」を表す言葉は、数字で示したり、分量が目で見分けるようにしたりするのもよいです。

④してほしいことをシンプルに伝える。

→言うことを聞かないことが続くと、大人は「勝手にきなさい。」「好きにきなさい。」などと言い、その通りにすると怒ることがあります。幼い子どもはまだそれが本心ではないと気付けないことがあり、混乱してしまうかもしれません。「〇〇してね。」とシンプルに伝えるほうが分かりやすいです。

参考文献 「育てにくい子に悩む保護者サポートブック ～保護者にできること」

監修者：高山恵子 発行所：学研教育出版